

平成20年度事業報告

．活動概況

平成20年度は、「東北の地域総合力発揮 - 広域戦略に基づく産業経済・社会の活性化」をモットーに、「産学官連携による地域産業の競争力強化と産業集積の促進」、「地域の自立と連携による経済社会の活性化」、「海外との交流・提携による事業機会の拡大支援」、「基礎的社会資本の整備・利活用の促進」の4点を重点課題とし、19年度に策定した「2030年に向けた東北ビジョン」に掲げた喫緊の課題も盛り込みながら、積極的に諸活動を展開した。

具体的には、「東経連事業化センター」の活動を通じた域内の中堅・中小企業等へのビジネス支援や大学等との連携、「東北観光推進機構」や「北海道・東北未来戦略会議」との連携による広域事業の推進、日中経済協力会議への参画等による海外との経済交流の推進、高速道路をはじめとする社会資本の整備促進、関係機関と共同で立ち上げた「東北国際物流戦略チーム」による域内の物流機能の強化と港湾の利活用促進等に取り組んだ。

また、世界的な金融危機を契機に東北の経済が危機的状況を迎えつつある中で、国等関係機関に対し、政策要望活動を行った。

．重点課題

1．産学官連携による地域産業の競争力強化と産業集積の促進

「東経連事業化センター」では、活動期間の中間年にあたる設立3年目を迎え、域内の中堅・中小企業等を対象としたビジネス支援を関係者と協力して行った。

活動の柱となる「マーケティング・ビジネスプラン支援事業」では、これまでに応募のあった企業の中から15社を選考し、支援を行っている。

また、「産学マッチング支援事業」では、大学や試験研究機関等の優れた研究シーズと域内企業とのマッチングを行い、これまでに39件のプロジェクト組成・運営支援を行っている。

さらに、(独)科学技術振興機構と共同で、大学等のシーズの事業化可能性調査への助成を行う「FS助成制度」では、11件に助成金の交付を行ったほか、専門家による「ビジネス講座」の開催を通じて経営人材の育成を図っている。

その他、「セールス支援ナビゲート事業」では、新製品等の販路拡大に取り組む域内企業に対して、首都圏に販路を持つ企業OB(ナビゲーター)等とのマッチングを行うため、「首都圏商談会」を開催し、支援を行った。

2. 地域の自立と連携による経済社会の活性化

広域観光の推進による東北の観光産業の活性化等に取り組む「東北観光推進機構」と連携して、国内外からの誘客促進に向けたプロモーション活動等を行った。

また、8道県知事と経済界のトップで構成する「北海道・東北未来戦略会議」の事務局を担い、「ほくとうトップセミナー」の開催や「真の分権型社会における広域経済圏の形成に関する調査・研究」を通じて、将来に亘る地域の戦略的事業について検討を行った。

一方、地方分権改革の推進に関して、道州制に対する理解促進を図るため、「東北の未来と道州制を考えるシンポジウム」を開催するとともに、国の「道州制ビジョン懇談会」等に参画し、道州制に関する基本姿勢について意見を具申した。

その他、国土形成計画の「全国計画」が閣議決定されたのを受け、「東北圏広域地方計画」の策定作業が進められたことから、「2030年に向けた東北ビジョン」を踏まえた、東北の意見反映に努めた。

3. 海外との交流・提携による事業機会の拡大支援

東アジアとの経済交流の拡大に向けて、中国で推し進められている東北振興政策の進捗状況の把握や中国東北地方との経済交流の一層の促進を図るため、「2008年日中経済協力会議 - 於新潟」の開催に協力した。

また、環境資源エネルギー委員会では、「欧州エネルギー・環境ミッション」を派遣し、欧州でのエネルギー・環境問題に関する先進事例の調査を通じて、東北地域におけるエネルギーの有効利用の可能性を探った。

4. 基礎的社会資本の整備・利活用の促進

地域の自立・連携の基盤となる高速交通体系、情報通信インフラの整備・利活用の促進に向けて、「東北における社会資本整備の重点的推進に関する提言」、「日本海沿岸東北自動車道の早期実現に関する要望」等を、国等関係機関に対して行い、公共事業の東北への重点配分、地域経済の自立と発展を支える社会資本整備の促進、日本海沿岸東北自動車道の早期実現を強く訴えた。

また、高速道路の整備が地域に与える経済波及効果や社会的影響について様々な角度から調査・分析し、東北の高速道路の整備につなげることを目的とした「東北の高速道路の戦略的整備に向けて」をとりまとめた。

その他、東北地方整備局や東北運輸局と共同で運営する「東北国際物流戦略チーム」では、東北の港湾の利活用促進に向けて、個別具体的なポートセールスの実施に加え、域内港湾の持つ優位性等の情報提供を行ったほか、当会独自に「国際物流情報交換会」、「国際物流講演会」を開催し、域内港湾利用による物流戦略の紹介や、行政機関・運輸関係者を交えた情報交換等を行った。

以上の重点課題に対する事業展開に加え、政府の経済政策や税制、規制緩和等、東北の産業経済の活性化に向けた諸施策に対し、東北の意見反映に努めるべく、政策要望活動を行った。特に、世界的な金融危機を契機とした景気の急速な悪化により、東北の経済が危機的な状況を迎えている現状に鑑み、「**経済対策の早期実施に関する緊急要望**」を2回（当会主体・他団体と共同）、**「景気浮揚に向けての緊急要望**」を1回、それぞれ実施し、経済対策の早期実施等について、国等関係機関に働きかけを行った。

．活動内容

総会・役員会等

1．通常総会

・第12回

5月21日

会員701名（委任状を含む）の出席を得て開催。

幕田会長が挨拶の後、議長となり議事を進め、第1号～第4号議案が審議され、満場一致で可決、承認。

第1号議案：第11回通常総会後の役員補充選任承認の件

第2号議案：平成19年度事業報告並びに平成19年度収支決算報告の件

第3号議案：平成20年度事業計画並びに平成20年度収支予算の件

第4号議案：任期満了に伴う役員選任の件

終了後、特別講演を開催。

演題：「変わる世界・日本の課題」

講師：国際政治学者

浅井信雄氏

2．常任理事会

・第20回

4月25日

幕田会長ほか副会長、常任理事合わせて23名の出席を得て開催。

「平成19年度事業報告並びに平成19年度収支決算報告」について審議。

・第21回

3月27日

幕田会長ほか副会長、常任理事合わせて21名の出席を得て開催。

「平成20年度補正予算」、「平成21年度事業計画並びに平成21年度収支予算」について審議。

3．理事会

・第54回

4月25日

理事123名（委任状を含む）の出席を得て開催。

幕田会長が挨拶の後、議長となり議事を進め、第1号～第2号議案が審議され、満場一致で可決、承認。

第1号議案：平成19年度事業報告並びに平成19年度収支決算報告の件

第2号議案：第12回通常総会付議事項の件

（1）第11回通常総会後の役員補充選任承認

（2）平成19年度事業報告並びに平成19年度収支決算報告

（3）平成20年度事業計画並びに平成20年度収支予算

（4）任期満了に伴う役員選任

・第55回

5月21日

理事125名(委任状を含む)の出席を得て開催。

幕田会長が挨拶の後、議長となり議事を進め、第1号～第6号議案が審議され、満場一致で可決、承認。

第1号議案：任期満了に伴う会長、副会長選任の件

第2号議案：任期満了に伴う専務理事、常務理事、常任理事選任の件

第3号議案：任期満了に伴う評議員会議長、評議員委嘱の件

第4号議案：任期満了に伴う委員会、地域懇談会の委員長、副委員長委嘱の件

第5号議案：任期満了に伴う顧問及び参与委嘱の件

第6号議案：事務局長委嘱の件

・第56回

7月28日

理事121名(委任状を含む)の出席を得て開催。

幕田会長が挨拶の後、議長となり議事を進め、第1号～第3号議案が審議され、満場一致で可決、承認。

第1号議案：新規入会会員の件

第2号議案：役員等の補充選任の件

第3号議案：要望活動の件

報告：「公益法人制度改革の概要と当会における対応」について

・第57回

12月2日

理事119名(委任状を含む)の出席を得て開催。

幕田会長が挨拶の後、議長となり議事を進め、第1号～第3号議案が審議され、満場一致で可決、承認。

第1号議案：新規入会会員の件

第2号議案：役員等の補充選任の件

第3号議案：要望活動の件

報告：「欧州エネルギー・環境ミッション」について

・第58回

3月27日

理事121名(委任状を含む)の出席を得て開催。

幕田会長が挨拶の後、議長となり議事を進め、第1号～第5号議案が審議され、満場一致で可決、承認。

第1号議案：新規入会会員の件

第2号議案：役員等の補充選任の件

第3号議案：平成20年度補正予算の件

第4号議案：平成21年度事業計画並びに平成21年度収支予算の件

第5号議案：要望活動の件

報告：道州制ビジョン懇談会等への対応について

東北の高速道路の戦略的整備に向けて

4. 評議員会

・第22回

11月20日

評議員34名(代理を含む)の出席を得て開催。

仲田議長が挨拶の後、議事を進め、「平成20年度事業活動状況」について説明。

終了後、講演会を開催。

演題：「短期間に多数の成功事例を生み出す新しい産学官連携スタイル“仙台堀切川モデル”の概要」

講師：東北大学大学院工学研究科 教授

堀切川 一 男 氏

・第23回

3月12日

評議員35名(代理を含む)の出席を得て開催。

仲田議長が挨拶の後、議事を進め、「平成21年度事業計画」について説明。

終了後、講演会を開催。

演題：「東北地域の景気動向等について」

講師：東北財務局長

大 川 浩 氏

5. 監事会

・第12回

4月25日

監事3名の出席を得て開催。平成19年度の会計及び業務の監査を実施。

委員会活動

1. 経済政策委員会（委員長・瀬谷 俊雄副会長）

経済政策委員会では、景気、企業経営動向の調査を通じて、政府予算編成、経済財政運営等に関する政策要望等を行った。

（1）委員会等の開催

経済政策委員会・講演会

2月16日

瀬谷委員長ほか委員 14 名の出席を得て開催。

「平成 20 年度事業活動状況報告」、「平成 21 年度事業計画」について審議。

委員会に先立って、会員ほか約 120 名の出席を得て講演会を開催。

演題：「激動の世界情勢の中での地域の進むべき道」

講師：愛知淑徳大学ビジネス学部 教授

真田 幸光 氏

（2）フォーラム等の開催

平成 20 年度経済財政白書説明会

・第 1 回（新潟市）

9月5日

会員ほか約 60 名の出席を得て開催。

講師：内閣府 政策統括官付上席政策調査員

篠田 由紀夫 氏

・第 2 回（仙台市）

9月22日

会員ほか約 100 名の出席を得て開催。

講師：内閣府 政策統括官付上席政策調査員

篠田 由紀夫 氏

経済金融情勢講演会（仙台市）

11月10日

会員ほか約 140 名の出席を得て開催。

演題：「日本経済の展望と課題」

講師：(株)日本総合研究所 副理事長

高橋 進 氏

新型インフルエンザ対策に関する講演会

・第 1 回（仙台市）

12月18日

会員ほか約 100 名の出席を得て開催。

講師：国立感染症研究所 研究員・医学博士

岡田 晴恵 氏

・第 2 回（新潟市）

1月28日

会員ほか約 80 名の出席を得て開催。

講師：国立感染症研究所 研究員・医学博士

岡田 晴恵 氏

経済活性化講演会

・第 1 回（秋田市）

3月5日

会員ほか約 70 名の出席を得て開催。

講師：立教大学経済学部 教授

山口 義行 氏

・第 2 回（福島市）

3月13日

会員ほか約 80 名の出席を得て開催。

講師：立教大学経済学部 教授

山口 義行 氏

(3) その他

企業経営に関するアンケート調査(4月、10月)

東北の景気動向(毎月)

2. 産業政策委員会(委員長・西井 弘副会長)

産業政策委員会では、東経連事業化センターによる域内中堅・中小企業等へのマーケティング、知的財産戦略等の支援や工場視察会による最新技術の紹介等、産業育成への取り組みを行った。

(1) 委員会等の開催

産業政策委員会・講演会

3月11日

西井委員長ほか委員15名の出席を得て開催。

「平成20年度事業活動状況報告」、「東経連事業化センター事業活動状況報告」、「平成21年度事業計画」について審議。

委員会終了後、会員ほか約130名の出席を得て講演会を開催。

演題:「環境ビジネスと企業戦略」

講師:(株)日本政策投資銀行公共ソリューション部 CSR支援室課長 竹ヶ原 啓介 氏

第7回産学官連携ラウンドテーブル(仙台市)

1月20日

産学官連携による地域の産業競争力強化に向けて開催。

井上明久・東北大学総長、村井嘉浩・宮城県知事、梅原克彦・仙台市長、幕田会長の4者が意見交換。

(2) フォーラム等の開催

工場視察会

・第1回(山形県)

6月5日

会員38名の参加を得て、有機エレクトロニクス研究所、NECパーソナルプロダクツ(株)、米沢工業高校を視察。情報通信委員会との合同開催。

・第2回(青森県)

8月27日~28日

会員34名の参加を得て、日本原燃(株)、二又風力開発(株)、エーアイエス(株)を視察。環境資源エネルギー委員会との合同開催。

・第3回(福島県)

11月26日

会員40名の参加を得て、ソニーエナジー・デバイス(株)、日本全薬工業(株)を視察。

農商工連携をリードする経営人財育成セミナー

・第1回(仙台市)

1月26日

会員ほか約160名の出席を得て開催。

【基調講演】

演題：「農商工連携によるビジネスモデルの創出、バリューチェーンの再構築」

講師：東北大学大学院経済学研究科 教授

大 滝 精 一 氏

【パネルディスカッション】

テーマ：「農商工連携による経営イノベーション」

コーディネーター：東北大学大学院経済学研究科 教授

大 滝 精 一 氏

パネリスト：(株)一ノ蔵 代表取締役名誉会長

浅 見 紀 夫 氏

(有)伊豆沼農産 代表取締役

伊 藤 秀 雄 氏

e-アグリ(株) 代表取締役社長

堂 脇 広 一 氏

・第2回(仙台市)

3月14日

会員ほか約90名の出席を得て開催。

【基調講演】

演題：「農商工連携をリードする経営者に求められること」

講師：食と農研究所 代表、中小企業診断士

加 藤 寛 昭 氏

【農商工連携プロデューサー育成塾の紹介】

「経営人財としてのプロデューサーの役割」

東北大学大学院経済学研究科 教授

権 奇 哲 氏

「育成塾カリキュラムの全体像と講義内容」

東北大学大学院経済学研究科 准教授

高 浦 康 有 氏

「農商工連携事例実習と実践につなげる仕組み」

(株)プロジェクト地域活性 代表取締役社長

望 月 孝 氏

(3) 東経連事業化センターの活動支援

「関係団体の活動推進」参照。

(4) その他

ビジネス&テクノ東北2008(仙台市)

10月17日~18日

東北7県を対象としたビジネス展示会・ビジネスマッチングのイベントを(社)東北ニュービジネス協議会等と共催で開催。

総来場者数：9,021名

ビジネス展示会：225企業・団体が計280ブースで、自社商品やサービス、ビジネスプランを紹介。

3. 地域政策委員会（委員長・渡邊 靖彦副会長）

地域政策委員会では、地域の自立と連携による経済社会の活性化に向けて、「2030年に向けた東北ビジョン」に示したアクションプランを基本に据えながら、官民一体の広域連携の推進や地方分権改革の推進、人口減少・少子高齢化社会における豊かさの創出等に関する諸活動を展開した。

（1）委員会等の開催

地域政策委員会・講演会

3月4日

渡邊委員長ほか委員12名の出席を得て開催。

「平成20年度事業活動状況報告」、「平成21年度事業計画」について審議。

委員会終了後、講演会を開催。

演題：「東北圏広域地方計画について」

講師：国土交通省東北地方整備局 副局長・東北圏広域地方計画推進室長 後藤 隆之 氏

（2）「2030年に向けた東北ビジョン」の実現に向けた対応

公益事業学会第58回大会への参画（蔵王町）

6月7日

同学会において基調講演。

演題：「2030年に向けた東北ビジョン」について

講師：（社）東北経済連合会 副会長 佐々木 恭之助

（3）国土形成計画・東北圏広域地方計画への対応

東北圏広域地方計画協議会の開催

10月17日

7月4日に「国土形成計画・全国計画」が閣議決定。8月11日の「東北圏広域地方計画協議会」設置を受け、10月17日に「第1回東北圏広域地方計画協議会」が開催された。

同協議会の会長に幕田会長が選出され、これまでの検討について整理するとともに、今後の東北圏における国土の将来ビジョンや、「広域連携プロジェクト」に関して、幅広く意見交換を行った。

東北圏広域地方計画に関するシンポジウムの支援（盛岡市）

6月24日

東北圏広域地方計画懇談会

・第4回（仙台市）

1月30日

東北圏広域地方計画協議会検討会議

・第1回（仙台市）

2月4日

・第2回（仙台市）

3月26日

東北地方戦略懇談会連絡調整会

・第1回（新潟市）

1月22日～23日

・第2回（仙台市）

3月26日

(4) 北海道・東北未来戦略会議との連携

「関係団体の活動推進」参照。

(5) 地方分権改革の推進に向けた対応について

道州制に関する協議機関への参画

【道州制ビジョン懇談会(道州制協議会)】設置時期：平成19年1月

今年度、12回開催(設置以降、計29回開催)。

【日本経団連・道州制推進委員会】設置時期：平成19年5月

今年度、3回開催(設置以降、計6回開催)。

東北の未来と道州制を考えるシンポジウム

7月17日

内閣府、日本経団連等との共催で、会員約430名の出席を得て開催。

【基調講演】

講師：道州制ビジョン懇談会 座長

江口克彦氏

【パネルディスカッション】

テーマ：「道州制で描く日本と東北の未来」

コーディネーター：(社)東北経済連合会 副会長

佐々木 恭之助

パネリスト：道州制担当大臣

増田 寛也 氏

宮城県知事

村井 嘉浩 氏

新潟大学教授

田村 秀 氏

経団連評議員会副議長・道州制推進委員会共同委員長

(アサヒビール会長)

池田 弘一 氏

地方分権改革推進委員会と東北経済界との意見交換会(仙台市)

9月8日

地方分権改革推進委員会側より4名、東北経済界側から3名が出席し、「国の出先機関の見直しに関する中間報告」について意見交換を行った。

【出席者】

地方分権改革推進委員会側：

委員長/伊藤忠商事(株)代表取締役会長

丹羽 宇一郎 氏

委員/一橋大学 教授

井伊 雅子 氏

開成町長

露木 順一 氏

専門委員

松田 隆俊 氏

東北経済界側：

(社)東北経済連合会 副会長

佐々木 恭之助

仙台商工会議所 会頭

丸森 仲吾 氏

仙台経済同友会 代表幹事

氏家 照彦 氏

「考えよう道州制！」県民フォーラムへの参加（秋田市）

2月3日

会員ほか約 280 名の出席を得て開催。

【基調講演】

演題：「地方を元気に！政治経済の混乱を超えて」

講師：前総務大臣（兼道州制担当大臣）

増田寛也氏

【パネルディスカッション】

テーマ：「道州制～地方が主役の国づくり～」

コーディネーター：秋田県道州制懇話会 会長

渡部毅氏

パネリスト：前総務大臣

増田寛也氏

秋田県知事

寺田典城氏

秋田商工会議所未来委員会 委員長

佐野元彦氏

（社）東北経済連合会 副会長

佐々木 恭之助

（6）少子高齢化・人口減少社会に対応した豊かな地域社会の創出等

東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会への参画

4．環日本海経済交流委員会（委員長・敦井 榮一副会長）

環日本海経済交流委員会では、日本海側各県が抱える諸課題や日本海沿岸の対岸として近接性ある中国を中心とした東アジア地域との交流拡大に関する検討や情報提供を行った。

（1）委員会等の開催

環日本海経済交流委員会・講演会

3月17日

敦井委員長ほか委員 8 名の出席を得て開催。

「平成 20 年度事業活動状況報告」、「平成 21 年度事業計画」について審議。

委員会終了後、講演会を開催。

演題：「世界同時不況下の中国経済の行方」

講師：藤野中国研究所 代表

藤野文晤氏

（2）その他

「2008 年日中経済協力会議 - 於新潟」への参加

6月1日～3日

「交流活動」参照。

「第 4 回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会」への参加

9月1日～4日

中国吉林省長春市で開催された「第 4 回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会」（9月2日～6日）に参加し、東北 7 県の観光を P R するとともに、中国の最新状況の把握に努めた。

「中国吉林省図們江地域視察団」への参加

10月22日～27日

日本海横断フェリー航路の試験運航を受け、ロシアの港湾事情、延辺朝鮮族自治州及び琿春市政府の各指導者との会見、琿春日本工業団地、現地日系進出企業等の視察を通じて、図們江地域の開発と物流の最新状況の把握に努めた。

5. 交通運輸委員会（委員長・佐々木 恭之助副会長）

交通運輸委員会では、高速道路をはじめとする域内のインフラ整備の推進や効率的な物流網の構築に向けて、各地でフォーラムを開催し、国等関係機関に要望活動を実施したほか、先進地視察会や高速道路の戦略的整備に向けての調査を実施した。

（1）委員会等の開催

交通運輸委員会・講演会

3月23日

佐々木委員長ほか委員10名の出席を得て開催。

「平成20年度事業活動状況報告」、「平成21年度事業計画」について審議。

委員会終了後、講演会を開催。

演題：「道路行政を取り巻く最近の情勢と高速道路整備の今後」

講師：前国土交通省道路局長

宮田年耕氏

（2）フォーラム等の開催

フォーラム「東北は訴える！ インフラ整備 これでもいいのか」(盛岡市)

7月8日

幕田会長ほか約1,100名の出席を得て、平成21年度政府予算の編成に向け、公共事業の東北への重点配分を訴えるために開催。

同フォーラムで採択した決議を踏まえ、国等関係機関に要望活動を実施。

【基調講演】

演題：「地球温暖化に伴う水災害への適応策のありかた」

講師：中央大学研究開発機構 教授

福岡捷二氏

【要望採択】

東北六県商工会議所連合会 会長

丸森伸吾氏

釜石港・自動車産業視察会（金ヶ崎町・遠野市・釜石市）

7月10日

会員33名の参加を得て、関東自動車工業（株）岩手工場、仙人峠道路、釜石港を視察。

日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム(秋田市)

9月3日

幕田会長ほか約500名の出席を得て、日本海沿岸東北自動車道の早期完成を促進するため、東北及び沿線4県の民間経済73団体による「日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム実行委員会」(代表・幕田会長)主催の下、開催。

同フォーラムで採択した決議を踏まえ、国等関係機関に要望活動を実施。

【基調講演】

演題:「実力とは何か」

講師:スポーツジャーナリスト(元NHKチーフアナウンサー) 羽佐間 正 雄 氏

【大会決議】

秋田県商工会議所連合会 会長

渡 邊 靖 彦 氏

国際物流情報交換会・講演会

荷主企業、商社、物流事業者を招いて、東北の港湾利用の成功事例や国際貿易事例の発表を行う情報交換会を2回開催。加えて、有識者による国際物流情勢に関する講演会も開催。いずれも会員ほか約100名が出席。

・第3回国際物流情報交換会(仙台市)

10月21日

演題:「仙台塩釜港を利用した物流戦略」

講師:東洋ゴム(株) タイヤSCM統括部 海外物流チーム担当課長 三 好 裕 一 氏

演題:「海外サプライチェーンと仙台塩釜港の活用」

講師:住友スリーエム(株) ロジスティックスオペレーション本部 統轄部長

栗 原 康 通 氏

演題:「ロシア鉄道を活用した定期ブロックトレインサービス」

講師:三井物産(株) 物流本部物流ネットワーク事業部 グローバルネットワーク室長

佐 渡 成 之 氏

・第4回国際物流情報交換会(新潟市)

2月9日

演題:「新潟工場の紙製品輸出について」

講師:北越製紙(株)新潟工場 事務部長

矢 澤 秀 男 氏

演題:「アイリスオーヤマの輸入戦略」

講師:アイリスオーヤマ(株) 執行役員物流部統括マネージャー

大 泉 宏 明 氏

演題:「ロシア鉄道を活用した定期ブロックトレインサービス」

講師:東京共同貿易(株) 輸出部 取締役営業部長

高 儀 良 晴 氏

・国際物流講演会(仙台市)

1月14日

演題:「東北の国際物流戦略について

～東北国際物流戦略チームの取り組みと45フィートコンテナ等について～」

講師:東北大学大学院情報科学研究科 教授

稲 村 肇 氏

演題:「広域化・グローバル化に対応した自動車部品物流の効率化」

講師:(財)運輸政策研究機構・運輸政策研究所 主任研究員

久 米 秀 俊 氏

自動車産業・物流施設視察会（愛知県田原市）

2月10日

会員28名の参加を得て、トヨタ自動車（株）田原工場、三河港田原地区トヨタ専用埠頭、翔運輸（株）田原物流センターを視察。

（3）東北の高速道路の戦略的整備に関する調査の実施

日本海沿岸東北自動車道や東北中央自動車道、三陸縦貫自動車道・常磐自動車道の縦の3ルート的高速道路が東北地域に与える影響についてとりまとめたほか、従来の費用対効果（B/C）の議論を踏まえ、欧米の調査方法を参考にしながら、総合的な評価方法の採用等について提言を行った。

（4）東北国際物流戦略チームの活動

東北地方整備局、東北運輸局と共同で事務局を担う「東北国際物流戦略チーム」において、平成20年度は、東北の空港・港湾の認知度向上による取扱貨物量の拡大に向けて活動した。

東北の荷主データベース、京浜港から東北港湾に利用転換した企業の事例集をとりまとめたほか、東北・北関東の自動車産業への物流調査及びポートセールス、LCL（小口混載貨物）の公開輸送実験、工業団地等に出向いて行う出前説明会を実施した。

本部会（仙台市）

3月10日

検討ワーキング会議

- ・第1回（仙台市） 8月1日
- ・第2回（仙台市） 1月26日
- ・第3回（仙台市） 3月4日

LCL公開輸送の実施

- ・（株）エムジー（宮城県利府町：自動車部品等製造） 1月28日～3月2日

【ルート】仙台塩釜港～LA港（利府工場～アトランタ工場）

工業団地等への出前説明会

- ・第1回（北上市） 12月2日
- ・第2回（福島市） 2月5日

6．情報通信委員会（委員長・藤崎 三郎助副会長）

情報通信委員会では、エレクトロニクス最先端技術や「ものづくり」生産技術等の視察会を開催した。また、次代を担う情報通信基盤として期待されている次世代ネットワーク（NGN）に関する講演会を開催した。

（1）委員会の開催

情報通信委員会

9月29日

藤崎委員長ほか委員13名の出席を得て開催。

「平成20年度事業活動状況」等について審議。

(2) フォーラム等の開催

次世代ネットワークフォーラム(仙台市)

9月29日

会員ほか約130名の出席を得て開催。

演題:「次世代ネットワーク(NGN)が拓く情報通信の新たな展開」

講師:東日本電信電話(株) 代表取締役副社長

小園文典氏

工場視察会(山形市他)

6月5日

会員38名の参加を得て、有機エレクトロニクス研究所、NECパーソナルプロダクツ(株)米沢事業所、米沢工業高校を視察。産業政策委員会との合同開催。

7. 環境資源エネルギー委員会(委員長・亀井 昭伍副会長)

環境資源エネルギー委員会では、関連団体と連携しながら、環境関連セミナーや視察会等を開催した。また、ヨーロッパにおけるエネルギー、環境問題に対する取り組みを視察するため、欧州エネルギー・環境ミッションを派遣した。

(1) 委員会の開催

環境資源エネルギー委員会

12月11日

亀井委員長ほか委員11名の出席を得て開催。

「平成20年度事業活動状況報告」、「平成21年度事業計画」について審議。また、「欧州エネルギー・環境ミッション」について報告。

(2) 欧州エネルギー・環境ミッションの派遣

10月10日~20日

亀井委員長、北村東北大学名誉教授ほか8名の参加を得て実施。

ヨーロッパにおけるバイオマスエネルギーや原子力、新エネルギー等の最新動向を調査するため、スウェーデン、ドイツ、フランスの3ヵ国において、原子力発電所、低・中レベル放射性廃棄物処分施設、MOX燃料工場、各国電気事業連合会、環境先進住宅地域、木質ペレット発電所等の計11施設を訪問し、状況等を視察。

(3) フォーラム等の開催

エネルギー講演会(仙台市)

11月20日

会員ほか約140名の出席を得て開催。

【第1部】

演題:「原油価格の現状と今後の動向」

講師:(財)日本エネルギー経済研究所 理事 戦略・産業ユニット総括

小山 堅 氏

【第2部】

演題:「地球温暖化対策と今後の展望」

講師:(財)日本エネルギー経済研究所 研究主幹 地球環境ユニット総括

工藤 拓毅 氏

工場視察会

- ・第1回(青森県六ヶ所村) 8月27日~28日
会員34名の参加を得て、日本原燃(株)、二又風力開発(株)、エーアイエス(株)を視察。
産業政策委員会との合同開催。
- ・第2回(仙台市) 12月11日
会員11名の参加を得て、東北大学未来科学技術研究センターの地中熱利用空調システム実験を視察。
- ・第3回(塩釜市他) 3月10日
会員30名の参加を得て、塩釜市団地水産加工業協同組合、日本製紙(株)石巻工場のバイオマスエネルギー施設を視察。

8. 観光文化委員会(委員長・丸森 伸吾副会長)

観光文化委員会では、観光による活性化に取り組む地域への視察会を行ったほか、地域づくりと観光振興をテーマにシンポジウムを開催した。また、「東北観光推進機構」と連携して、観光客の誘致促進及び受入体制整備等に取り組んだ。

(1) 委員会の開催

- 観光文化委員会 3月6日
丸森委員長ほか委員9名の出席を得て開催。
「平成20年度事業活動状況報告」、「平成21年度事業計画」について審議。

(2) フォーラム等の開催

- シンポジウム(仙台市) 3月6日
会員ほか約70名の参加を得て開催。
【基調報告】
村上町屋商人会 会長、国土交通省認定観光カリスマ 吉川 真嗣 氏
(株)ホテル佐勘 代表取締役 佐藤 勘三郎 氏
松岡物産(株) 代表取締役 酒井 天美 氏
【パネルディスカッション】
テーマ:「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりへの舵取り
コーディネーター:(株)東北地域環境研究室 代表 志賀 秀一 氏
パネリスト : 上記3名

- 視察会(いわき市) 2月17日
会員16名の参加を得て、地域づくりと一体となった観光振興に取り組む「いわきフラオンパーク」を視察。

(3) 東北観光推進機構の活動支援

岩手・宮城内陸地震風評被害対策キャンペーンへの協力

岩手・宮城内陸地震の発生により風評被害が著しい地域の観光復興を支援するため、東北観光推進機構が中心となって実施した「東北夏祭り緊急キャンペーン」に協力。

地域懇談会活動

1. 青森地域懇談会（委員長・林 光男副会長）

（1）会員懇談会の開催

会員懇談会（十和田市） 6月5日

石川十和田商工会議所会頭ほか十和田・三沢地区の会員8名の出席を得て開催。

会員懇談会（青森市） 8月26日

幕田会長、林委員長ほか青森県内の会員約50名の出席を得て開催。地域フォーラムと同時開催。

（2）地域フォーラムの開催

東経連フォーラム in 青森（青森市） 8月26日

幕田会長、林委員長はじめ、会員ほか約140名の出席を得て開催。

演題：「中小企業をめぐる景気動向と経営者の課題」

講師：立教大学経済学部 教授

山口 義行 氏

2. 岩手地域懇談会（委員長・永野 勝美副会長）

（1）会員懇談会の開催

会員懇談会（花巻市） 6月17日

三國花巻商工会議所会頭ほか花巻・北上地区の会員6名の出席を得て開催。

会員懇談会（盛岡市） 2月18日

幕田会長、永野委員長ほか岩手県内の会員約40名の出席を得て開催。地域フォーラムと同時開催。

（2）地域フォーラムの開催

東経連フォーラム in 岩手（盛岡市） 2月18日

幕田会長、永野委員長はじめ、会員ほか約110名の出席を得て開催。

演題：「2009年、国際社会の中の日本」

講師：慶應義塾大学総合経済学部 教授

草野 厚 氏

3. 宮城地域懇談会（委員長・丸森 伸吾副会長）

（1）会員懇談会の開催

会員懇談会（大崎市） 9月11日

松本古川商工会議所会頭ほか宮城県北地区の会員6名の出席を得て開催。

4. 秋田地域懇談会（委員長・渡邊 靖彦副会長）

（1）会員懇談会の開催

会員懇談会（横手市） 11月21日

岩佐横手商工会議所会頭（当会常任理事）ほか横手・湯沢地区の会員6名の出席を得て開催。

会員懇談会（秋田市） 10月22日

幕田会長、渡邊委員長ほか秋田県内の会員約40名の出席を得て開催。地域フォーラムと同時開催。

（2）地域フォーラムの開催

東経連フォーラム in 秋田（秋田市） 10月22日

幕田会長、渡邊委員長はじめ、会員ほか約110名の出席を得て開催。

演題：「日本の政治経済の課題」

講師：慶應義塾大学法学部 教授

小林良彰氏

5. 山形地域懇談会（委員長・山澤 進副会長）

（1）会員懇談会の開催

会員懇談会（米沢市） 7月3日

大友米沢商工会議所常任顧問（当会常任理事）ほか南陽地区の会員6名の出席を得て開催。

会員懇談会（山形市） 9月26日

幕田会長、山澤委員長ほか山形県内の会員約40名の出席を得て開催。地域フォーラムと同時開催。

（2）地域フォーラムの開催

東経連フォーラム in 山形（山形市） 9月26日

幕田会長、山澤委員長はじめ、会員ほか約140名の出席を得て開催。

演題：「景気後退下でも加速する国内設備投資ウェーブ」

講師：産業タイムズ社 取締役専務編集局長

泉谷 渉 氏

6. 福島地域懇談会（委員長・瀬谷 俊雄副会長）

（1）会員懇談会の開催

会員懇談会（南相馬市） 2月25日

遠藤原町商工会議所会頭ほか相双地区の会員8名の出席を得て開催。

会員懇談会（福島市） 10月7日

瀬谷委員長ほか福島県内の会員約70名の出席を得て開催。地域フォーラムと同時開催。

(2) 地域フォーラムの開催

地域活性化フォーラム in 福島 (福島市)

10月7日

瀬谷委員長はじめ、会員ほか約160名の出席を得て開催。

演題：「地球温暖化と企業の課題」

講師：東京大学 特任教授・工学博士

進 藤 勇 治 氏

7. 新潟地域懇談会 (委員長・敦井 榮一副会長)

(1) 会員懇談会の開催

会員懇談会 (新発田市)

7月30日

佐藤新発田商工会議所会頭ほか新潟県北地区の会員7名の出席を得て開催。

会員懇談会 (新潟市)

11月19日

幕田会長、敦井委員長ほか新潟県内の会員約50名の出席を得て開催。地域フォーラムと同時開催。

(2) 地域フォーラムの開催

東経連フォーラム in 新潟 (新潟市)

11月19日

幕田会長、敦井委員長はじめ、会員ほか約110名の出席を得て開催。

演題：「アジア経済動向とモノづくり日本の現場力」

講師：日本経済新聞社 編集局アジア部長

後 藤 康 浩 氏

関係団体の活動推進

1. 東経連事業化センター

東経連事業化センター（正式名称：東北地域新規事業化支援センター）の事務局を担い、「マーケティング・ビジネスプラン支援事業」、「産学マッチング支援事業」、「セールス支援ナビゲート事業」を柱に、東北域内の新規事業の育成に向け、企業に対して支援活動を行った。

（1）支援戦略委員会（隔月開催）

マーケティング・ビジネスプラン支援事業における支援案件の検討及びセンター活動の全体調整を図るために開催。

企業からの支援申請を受けた後、当委員会において市場性・知的財産の有効性等を検証し、支援の可否を検討する。20年度までに15件（非公開3件）の支援を採択している。

支援企業に対しては、マーケティング、知的財産、セールスの各分野を中心に90名弱の専門家の中から、それぞれ支援チームを組織し、実践的な支援活動を展開している。

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| ・第13回 | 5月27日 | ・第16回 | 11月25日 |
| ・第14回 | 7月22日 | ・第17回 | 1月27日 |
| ・第15回 | 9月26日 | ・第18回 | 3月24日 |

（2）産学マッチング委員会（四半期毎開催）

大学等の研究・技術シーズに基づく域内企業の事業化を支援するために開催。

35名の事業化コーディネーターによる大学シーズヒアリング、域内企業へのニーズヒアリングを実施しながら、シーズ紹介による研究者・企業マッチングを進めた。

また、19年度より事業化可能性検証を助成する「F S助成制度」を（独）科学技術振興機構と共同で設置し、これまで11件に助成金の交付を行った。

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| ・第18回 | 6月18日 | ・第20回 | 12月17日 |
| ・第19回 | 9月17日 | ・第21回 | 3月16日 |

（3）産学マッチングステアリングコミッティ、事業化コーディネーターミーティング

産学マッチング委員会での検討を受けて、ステアリングコミッティ（毎月開催）、事業化コーディネーターミーティング（毎月開催。うち東北7県コーディネーター対象の拡大会議4回）を開催し、プロジェクト組成・フォロー、企業ヒアリング・施設見学等を行った。

（4）セールス支援ナビゲート事業「首都圏商談会」（東京都）

新製品等の販路拡大に取り組む域内企業の商品について、首都圏での販路拡大を促進することを目的に実施した。

- ・第2回商談会 5月22日

杉山木材（株）（青森市）、（株）環境保全サービス（奥州市）、東スリーエス（株）（仙台市）、日和電気（株）（仙台市）、越後札紙（株）（小千谷市）、竹内精工（株）（いわき市）の6社が参加。

・第3回商談会

11月21日

和同産業(株)(花巻市)、(株)ガーデンニ賀地(仙台市)、(有)サント電業(山形市)、丸中白土(株)(福島市)の4社が参加し、首都圏に販路を持つ企業OBを中心としたセールスナビゲーター等へのプレゼンテーションを行った。

その後、企業別セールス支援会議を実施しながら販路開拓を進めている。

(5) ビジネス講座

経営戦略(仙台市)

9月12日

演題:「事業戦略立案のポイント」

講師:東経連事業化センター「ビジネス講座」プログラムオフィサー

東北大学大学院経済学研究科 教授

大 滝 精 一 氏

演題:「企業におけるR&D」

講師:東経連事業化センター 事業化コーディネーター

前・ソニー(株) 常務執行役員上席常務CTO

西 美 緒 氏

知的財産戦略(仙台市)

11月14日

演題:「中小ベンチャー企業向け知的財産戦略」

講師:東経連事業化センター 知的財産支援チームプロデューサー

酒井国際特許事務所 所長・弁理士

酒 井 宏 明 氏

演題:「知的財産と大手企業とのアライアンス戦略」

講師:東経連事業化センター 知的財産支援チームディレクター

弁護士知財ネット東北地域会 事務局長・弁護士

石 井 慎 也 氏

マーケティング戦略(仙台市)

1月23日

演題:「インターネットマーケティング最前線」

講師:東経連事業化センター マーケティング支援チームディレクター

東北大学大学院経済学研究科 准教授

澁 谷 覚 氏

演題:「ブランド戦略~その重要性和考え方~」

講師:早稲田大学商学部 教授

恩 蔵 直 人 氏

(6) 支援機関等とのネットワーク事業

ビジネス&テクノ東北2008の開催(仙台市)

10月17日~18日

東北ニュービジネス協議会等との共催により、域内企業による事業展示とバイヤー・セラーによる商談会を開催。出展企業225団体、総来場者数9,021名。

「EOY JAPAN 東北地区大会」実行委員会への参画

「Entrepreneur Of The Year (EOY)」の「EOY JAPAN 東北地区大会」(平成20年8月開催)の実行委員会に参画し、大会運営をサポート。

(7) 展示会出展

産学官連携フェア 2008 みやぎ - 研究成果発表・交流の集い - (仙台市) 9月30日

(財)みやぎ産業振興機構、当センター、ICR等の主催による研究シーズ発表等を通しての産学マッチングイベント。当センターの活動内容を紹介。

中経連テクノフェア 2008 (名古屋市) 10月8日

当センターの支援先と共に、「中経連テクノフェア(技術シーズ展示会)」へ出展し、支援先や当センターの活動内容を紹介。

セミコンダクタージャパン 2008 (幕張市) 12月3日~5日

半導体産業関連技術としては世界最大規模の展示会である「セミコンダクタージャパン 2008」にブース出展。当センターの活動内容の紹介と支援企業2社の製品等を展示。

北東北地域イノベーションフォーラム(青森市) 1月27日

JSTイノベーションサテライト岩手等の主催による研究シーズの発表等を通しての産学マッチングイベント。当センターの活動内容を紹介。

(8) その他

ホームページによる情報提供

支援対象企業及び当センターの活動内容について紹介。

メールマガジンの配信

月2回、当センターの各分野の専門家によるコラムを企画配信。

2. 東北観光推進機構

平成 19 年度にとりまとめた東北観光戦略に基づき、「東北の認知度向上及び観光客の満足度向上」、「国内大都市圏からの観光客誘致」、「東アジアを中心とした海外からの観光客誘致」、「観光戦略推進のための総合的な役割を担う体制づくり」を4本の柱として事業活動を行った。

(1) 東北の認知度・満足度向上対策

東北の観光情報の発信・提供

・「旅フェア 2008」への出展（横浜市） 6月19日～22日

東北の観光素材の魅力を紹介。

・「夏の東北トレイン」の実施 6月9日～7月6日

JR山手線を走行する車体に、夏の東北観光の魅力をPRする広告を施すとともに、上野駅で「夏の東北ステーション」と題した、東北観光パネル展や物産展を併せて実施。

・「東北温泉&桜トレイン号」の運行 3月16日～31日

JRの関東圏を走行する京浜東北・根岸線等の車両内に、東北観光の「温泉」と「桜」をPRする広告を実施。

(2) 国内大都市圏からの誘客対策

広域観光モデルルート開発事業・販促冊子作成

東北の歴史や文化、食等をテーマとした新たな東北の広域的な観光コースを提案する広域観光モデルルートの第二弾「東北ものがたり」を発行。

首都圏からの旅行会社招聘事業 8月27日～29日

NHK大河ドラマ「天地人」をテーマに、山形県、福島県、新潟県において現地研修・セミナーを開催。首都圏の旅行会社から11名が参加。

関西圏からの旅行会社招聘事業 9月17日～19日

全日本空輸並びに日本航空とのタイアップにより、青森県、岩手県、秋田県、宮城県を視察。関西圏の旅行会社から18名が参加。

観光セミナー等の開催

・関西圏観光セミナー・東北の夕べの開催（大阪市） 9月1日

関西圏の航空会社・旅行会社に対する東北観光のPRと誘客促進を目的に、各県とともに開催（東北の関係者約50名、関西圏の旅行会社等約150名が出席）。

また、関西圏のマスコミに対するPRキャラバンを併せて実施。

・九州圏観光セミナーの開催（福岡市） 11月19日

九州圏の旅行会社に対する東北観光のPRと誘客促進を目的に開催（東北の関係者25名、九州圏の旅行会社等18名が出席）。

・中部圏観光セミナーの開催（名古屋市） 11月26日

中部圏の旅行会社・運輸関係者に対して東北の観光素材の魅力をPRし、商品化の促進を図るため開催（東北の関係者15名、中部圏の旅行会社等34名が出席）。

また、セミナーに先駆けて11月25日に、中部圏のマスコミに対するPRキャラバンを併せて実施。

教育旅行の誘致促進

・東北教育旅行事例発表会の開催（東京都） 7月25日

首都圏の学校関係者を対象に、東北の体験型観光資源の理解浸透を図る目的で開催。

東北各県の教育旅行体験型プログラムの紹介や東北での修学旅行を実施している首都圏の中学校並びに高校の事例発表会等を実施（首都圏の学校関係者21校31名、主要旅行会社教育旅行担当者64名を含む総勢約150名が出席）。

・関西圏教育旅行セミナーの開催（大阪市） 11月27日

東北への修学旅行誘致拡大を促進する目的で開催（東北の行政担当者等35名、関西圏の主要旅行会社教育旅行担当者15名が出席）。

東北観光モバイルサイトの運営

JR東日本と連携し、手軽な情報ツールとして定着している携帯電話のウェブサイトを通じて、東北の観光情報を幅広く紹介。平成19年度に、第一弾として実施した「東北桜」に引き続き、域内の紅葉情報等が閲覧できる「東北・新潟秋・モバ旅キャンペーン」、スキー場や温泉地の情報が閲覧できる「東北・新潟冬・モバ旅キャンペーン」を実施。

（3）海外からの誘客対策

YOKOSO！JAPAN 東北2008 5月25日～6月1日

東北運輸局と連携し、韓国・台湾・中国・米国等、8カ国・地域の旅行会社39名、マスコミ19名を招聘し、東北観光視察ツアーを実施。また、青森市を会場に、商談会・観光セミナーを開催。

「YOKOSO！JAPAN トラベルマート2008・春」への参加 6月15日～20日

・視察会開催（福島県、山形県、宮城県）

・商談会開催（横浜市、山形市）

「YOKOSO！JAPAN トラベルマート2008・秋」への参加 10月19日～24日

・視察会開催（岩手県、青森県、秋田県）

・商談会開催（横浜市）

オーストラリア（シドニー）スキー旅行博覧会出展並びに日本政府観光局主催「観光セミナー」への参加 5月25日～27日

継続的な旅行商品の造成に向け、プロモーション活動を実施。

香港・東北広域観光テレビ宣伝事業 （放映期間）9月28日～10月26日

東北運輸局と連携し、香港で視聴率1位のTVBテレビの取材班を招聘し、夏の東北観光をPRするテレビ番組を制作。現地ゴールデンタイムに30分番組として全5回放映。

東北観光プロモーション in 中国・広州 9月7日～11日

東北運輸局と連携し、中国でも富裕層が多いとされる広東省で、東北観光フェアを開催し、旅行商品造成に向けた商談会や意見交換会を実施。中国の旅行会社43名を含む64名が参加。

香港旅行会社招聘事業 2月22日～27日

東北運輸局と連携し、香港の旅行会社55社を招聘し、冬の東北視察ツアーを実施。また、仙台市で商談会を開催し、東北各地から宿泊施設等48団体が参加。

観光プロモーションの実施

海外旅行博等への出展及び現地旅行会社等へのプロモーション活動を実施。

- ・「香港国際旅遊展 2008」への参加 6月12日～15日
- ・「シンガポール旅行博覧会 (NATAS Travel2008)」への参加 7月30日～8月5日
- ・「シンガポール旅行博覧会 (NATAS Holiday2008)」への参加 9月11日～15日
- ・「中国 (大連) 東アジア国際旅行博 2008」への参加 10月10日～12日
- ・「台湾国際旅行博 (ITF 2008)」への参加 10月30日～11月3日
- ・「中国国際旅遊交易会 (上海CITM2008)」への参加 11月19日～23日

(4) その他

講演会 (仙台市)

3月17日

第5回理事会終了後、講演会を開催。

演題：「あかで このままでは 東北」

講師：(株)日本旅行西日本営業本部 J R 営業部ジパング営業推進室 支配人

寺田 一 義 氏

3. 北海道・東北未来戦略会議（ほくとう戦略会議）の活動への支援

北海道・東北の広域的な発展戦略を検討する「北海道・東北未来戦略会議（会長：高橋はるみ・北海道知事）」の事務局を担い、「ほくとうトップセミナー」、「真の分権型社会における広域経済圏の形成に関する調査・研究」等の事業活動を行った。

（1）ほくとうトップセミナーの開催

北海道・東北の官民のリーダーが一堂に会して、今後の発展戦略や地域が抱える諸課題について意見交換を実施。

また、産業、社会資本分野において確認事項をとりまとめた。

第3回ほくとうトップセミナー（青森市）

11月6日～7日

【講演】

演題：「地方分権が日本を変える」

講師：伊藤忠商事（株）取締役会長

丹羽 宇一郎 氏

（2）真の分権型社会における広域経済圏の形成に関する調査・研究

地域経済の活性化を目的に、官民協同で総合的な地域戦略の調査・研究を行った。

調査研究会の開催

- ・第4回（仙台市） 6月18日
- ・第5回（仙台市） 12月12日
- ・第6回（仙台市） 3月19日

ワーキンググループの開催

- ・第1回（仙台市） 9月25日
- ・第2回（仙台市） 2月4日

（3）ホームページの運営

戦略会議の取り組みを紹介するため、ホームページの更新を適宜行い、内容の充実を図った。

提言・調査研究活動

1．企業経営に関するアンケート調査（6月、12月）

東北の景気動向と企業経営の実態を把握することを目的に実施したもの。

2．東経連「欧州エネルギー・環境ミッション」報告書（3月）

平成20年10月10日～20日の日程で、環境問題やエネルギー問題について、先進的な取り組みを進めている欧州諸国の事例を調査し、東北におけるエネルギーの有効利用の可能性を探ることを目的に実施したミッションの概要をとりまとめたもの。

3．東北の高速道路の戦略的整備に向けて（3月）

東北における高速道路の戦略的な整備・利活用についての調査・研究を実施し、その結果を提言書としてとりまとめたもの。

政策要望活動

1．当会主体の要望

（1）平成21年度政府予算に関する要望

7月31日～8月1日

東北の産業経済の活性化に向けた諸施策の実施、並びに公共投資の東北への重点配分について要望。

【要望先】

内閣府、総務省、財務省、経済産業省、農林水産省、国土交通省、東北7県選出国會議員

（2）経済対策の早期実施に関する緊急要望

10月10日

世界的な金融情勢不安定化の影響等を踏まえ、補正予算の速やかな成立・実施と、追加経済対策の早期検討・実施を要望。

【要望先】

東北7県選出国會議員、自由民主党

（3）景気浮揚に向けての緊急要望

2月4日

景気の急速な悪化に対する経済対策の速やかな実施等を要望。

【要望先】

東北7県選出国會議員、自由民主党

2. 他団体との共同要望

(1) 東北における社会資本整備の重点的推進に関する提言

7月30日

「フォーラム：東北は訴える！ - インフラ整備 これでもいいのか - 」(7月8日開催)での決議を踏まえ、近年大幅な減少傾向にある公共事業の東北への重点配分等について要望。

【要望先】

財務省、国土交通省、東北6県選出国會議員、自由民主党

【主 体】

当会、東北六県商工会議所連合会、東北・北海道中小企業団体中央会連絡協議会、東北六県・北海道商工会連合会連絡協議会、東北建設業協会連合会

(2) 日本海沿岸東北自動車道の早期実現に関する要望

10月1日

「日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム」(9月3日開催)での決議を踏まえ、日本海沿岸東北自動車道の早期完成について要望。

【要望先】

内閣府、財務省、国土交通省、東北4県選出国會議員、自由民主党

【主 体】

日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム実行委員会

(3) 三経連共同要望

12月11日

「第13回三経連経済懇談会」(9月17日開催)の決議である「産業の競争力強化と自立的な広域圏の形成に向けて」と「経済対策の早期実施に関する緊急要望」の2本立てで要望活動を実施。

【要望先】

総務省、財務省、経済産業省、国土交通省、自由民主党

【主 体】

北海道経済連合会、北陸経済連合会、当会

交流活動

1. 国際交流活動

(1) 「2008年日中経済協力会議 - 於新潟」への参加

6月1日～3日

東北をはじめとする日本と中国東北3省1自治区(遼寧省・吉林省・黒龍江省・内モンゴル自治区)間の双方向の経済交流の拡大と相互協力の促進を図るべく、幕田会長をはじめ、会員等74名が参加。

2. 国内交流活動

(1) 第41回東北地方経済懇談会(日本経団連との懇談会)(仙台市) 7月16日

当会から幕田会長、副会長8名をはじめ会員約200名が出席。日本経団連からは御手洗会長のほか副会長など幹部10名の出席を得て開催。

「民間と地域の活力を引き出し、逆境を飛躍の好機に変える」をテーマに意見交換。

【個別テーマと発表者】

- ・地球温暖化問題に対する取り組み

(社)日本経済団体連合会 副会長 三村明夫氏
(新日本製鐵(株) 代表取締役会長)

- ・税制・財政・社会保障制度の抜本改革

(社)日本経済団体連合会 副会長 森田富治郎氏
(第一生命保険(株) 代表取締役会長)

- ・規制改革をめぐる動き

(社)日本経済団体連合会 副会長 前田晃伸氏
(株)みずほフィナンシャルグループ 代表取締役社長)

- ・地域産業の競争力強化に向けて

(社)東北経済連合会 副会長 西井弘

- ・東北の将来像実現に向けて (社)東北経済連合会 副会長 林光男

- ・東北の国際物流に関する取り組み

(社)東北経済連合会 副会長 佐々木 恭之助

(2) 第9回参与会(東北主要大学長との懇談会)(仙台市) 7月28日

幕田会長ほか当会役員18名及び参与9名の出席を得て開催。

「地域の発展を担う人材育成への取り組み」をテーマに意見交換。

(3) 第13回三経連(北海道、北陸、東北)経済懇談会(天童市) 9月17日

当会から幕田会長ほか16名、道経連から近藤会長ほか9名、北経連から新木会長ほか8名の出席を得て開催。

「産業の競争力強化と自立的な広域圏の形成に向けて」をテーマに意見交換。

【個別テーマと発表者】

- ・地域産業の競争力強化

(社)東北経済連合会 副会長 西井弘
北海道経済連合会 副会長 横山清氏
(株)ラルズ 代表取締役会長)

北陸経済連合会 常任理事 齊藤隆教氏
(北陸電機製造(株) 代表取締役社長)

・個性と魅力ある地域づくりの推進

北海道経済連合会 副会長 林 光 繁 氏
((株)十勝毎日新聞社 代表取締役社長・主筆)
北陸経済連合会 常任理事 山 崎 幸 雄 氏
(福井テレビジョン放送(株) 代表取締役会長)
(社)東北経済連合会 副会長 瀬 谷 俊 雄

(4) 顧問会(東北に関わりの深い有識者との懇談会)(東京都) 11月4日

幕田会長ほか当会役員5名及び顧問5名の出席を得て開催。
当会の事業活動、東北地域の経済状況等について意見交換を実施。

(5) 国会議員との懇談会(東京都) 12月2日

国会議員約60名並びに幕田会長ほか会員約100名の出席を得て開催。

(6) 第10回国の地方行政機関との懇談会(仙台市) 3月3日

当会から幕田会長ほか副会長、常任理事など約40名が出席し、国の地方行政機関からは井澤東北総合通信局長、大川東北財務局長、宮坂東北農政局長、根井東北経済産業局長、岡田東北地方整備局長、吉野北陸地方整備局長、木場東北運輸局長、後藤北陸信越運輸局長の8名が出席し、開催。

「平成21年度の重点的取り組みについて」をテーマに意見交換。

広報・情報提供活動

1. 広報活動

(1) 報道機関への情報提供活動(随時)

東経連情報(第1号~第43号)の他、報道機関各社に対して当会関連の情報をタイムリーに提供。

(2) 記者会見 7月16日

幕田会長、御手洗日本経団連会長が共同記者会見。

2. 出版・情報提供活動

(1) 月報「東経連」(毎月発行)

会員を対象に、主要な事業活動等の活動概況についてとりまとめ、わかりやすく情報提供。

(2) ホームページ更新・管理(随時更新)

当会の概要やプレスリリース、会員企業の紹介等について情報発信。

(3) メールマガジン「東経連インフォ・ボックス」(随時発信)

会員を対象に、東北の景気動向等のプレスリリース、講演会の案内等について、リアルタイムに情報発信。